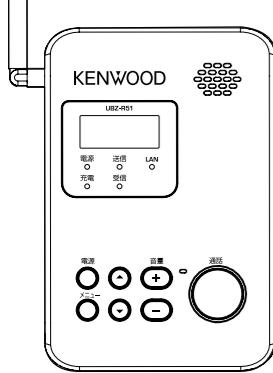


UBZ-R51

特定小電力中継器
スタートアップガイド

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前にこのスタートアップガイドと取扱説明書(基本編)をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。
本機は日本国内専用のモデルですので、国外で使用することはできません。



操作方法や製品の詳しい説明については、「取扱説明書(詳細編)」をご覧ください

本書は製品を使用開始するまでの設置・操作手順を中心に説明しています。
各種機能の設定や「故障かな?と思ったら」など、詳しい使い方については、
下記のURL、または右記のQRコードからアクセスできる「取扱説明書(詳細編)」をご覧ください。

<https://manuals.jvckenwood.com/>



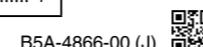
同梱品

同梱品がすべて揃っていることをご確認ください。

・中継器(本体)	1	・壁掛けブラケット用ネジ+ワッシャー	4
・ACアダプター	1	・落下防止ストラップ用ネジ+ワッシャー	1
・壁掛けブラケット	1	・スタートアップガイド	1
・落下防止ストラップ	1	・取扱説明書(基本編)	1

* 保証書については、「取扱説明書(基本編)」をご覧ください。

B5A-4866-00 (J)



株式会社 JVCケンウッド

本機の使用手順

本機を壁面に設置して使用するまでの手順を説明します。壁面に設置せず、台などに横向きに置いた状態でも使用できます。
本書では「単中継」モードで、壁面に設置して使用を開始するまでの手順を説明します。「単中継」モードは通常使用するレピーター モード(セミデュプレックス)です。1台のレピーターを介してトランシーバー間で「話す」「聞く」を交互におこなって通話します。
※「単中継」モード以外での使用手順は「取扱説明書(詳細編)」をご覧ください。

1. 設置場所を決める

特定小電力中継器は設置場所により、大きく変わる場合があるため、はじめに設置場所の検討をします。

1. 使用する範囲の中間地点を確認する

2. 障害物がないかを確認する

- なるべく見通しの良い場所や高い位置を探します。

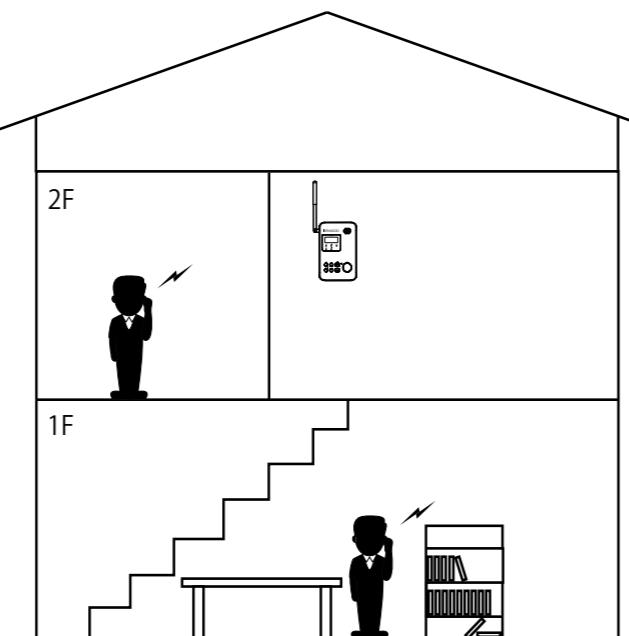
3. 周囲の環境を確認する

- 周囲に電波に影響を与えるものや電波を遮断する金属製のものが無いかを確認します。

4. 設置場所(壁や柱など)を決める

- 手で押すとへこんでしまう壁には取り付けないでください。
- 石膏ボードやベニヤ板などは、取り付け用のネジが緩んで本機が落下する恐れがあります。

◆特定小電力中継器は特定小電力無線機の通信距離を単純計算で2倍にできる装置です。通話するエリアの中間地点、なるべく高い場所への設置をおすすめします。
◆屋内の雨や水滴のかからない場所で、周囲の壁や金属性の物から離して設置してください。

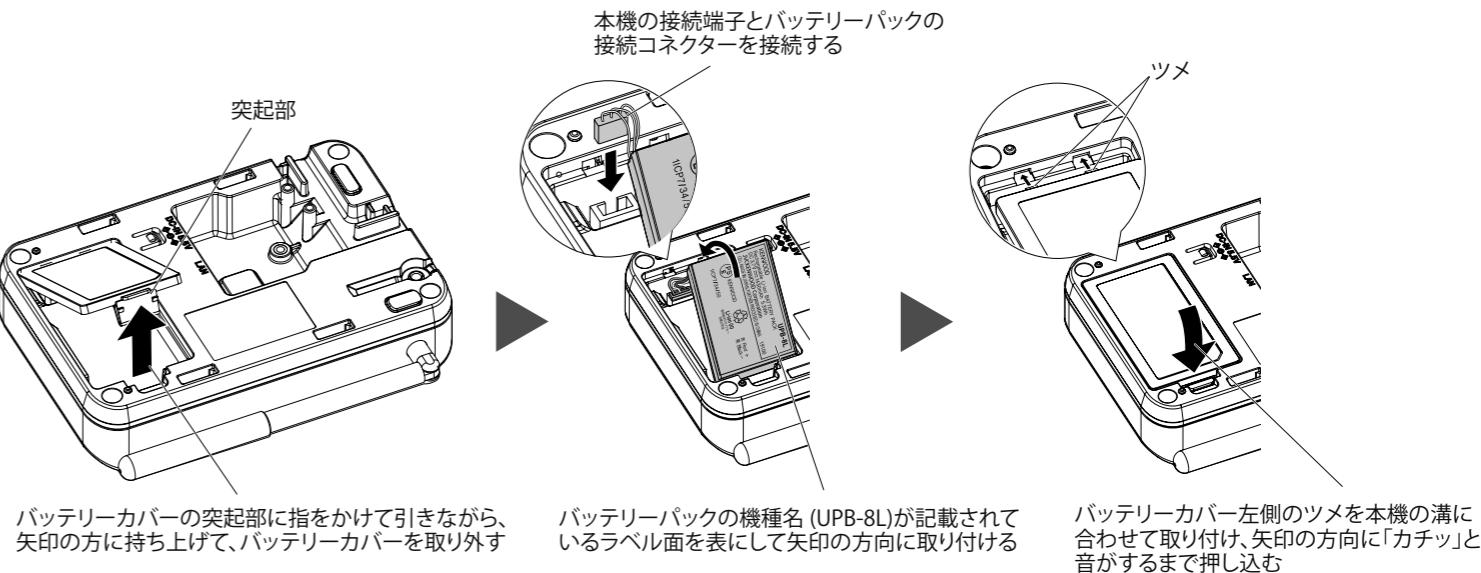


2. 設置の準備をする

本機の設置を行う前に、バッテリーパック(別売品)や落下防止ストラップ、ACアダプター(DCプラグ)の取り付けを行います。

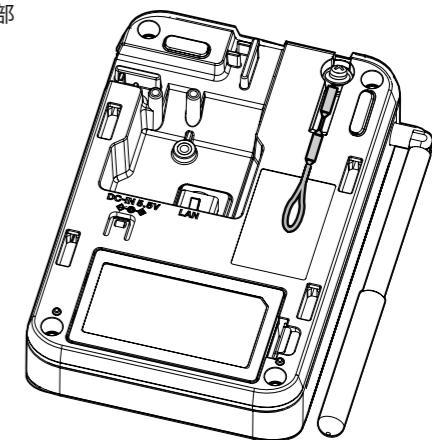
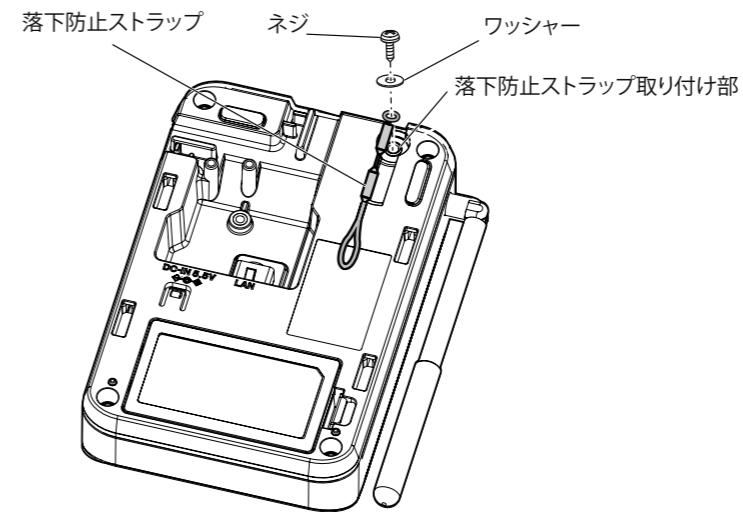
バッテリーパック(別売品)の取り付け

停電したときなどでも動作できるように、別売のバックアップ電池(リチウムイオンバッテリー: UPB-8L)を取り付けることができます。
※バッテリーパックの取り付け/取り外しを行うときは、本機の電源をOFFにしてください。



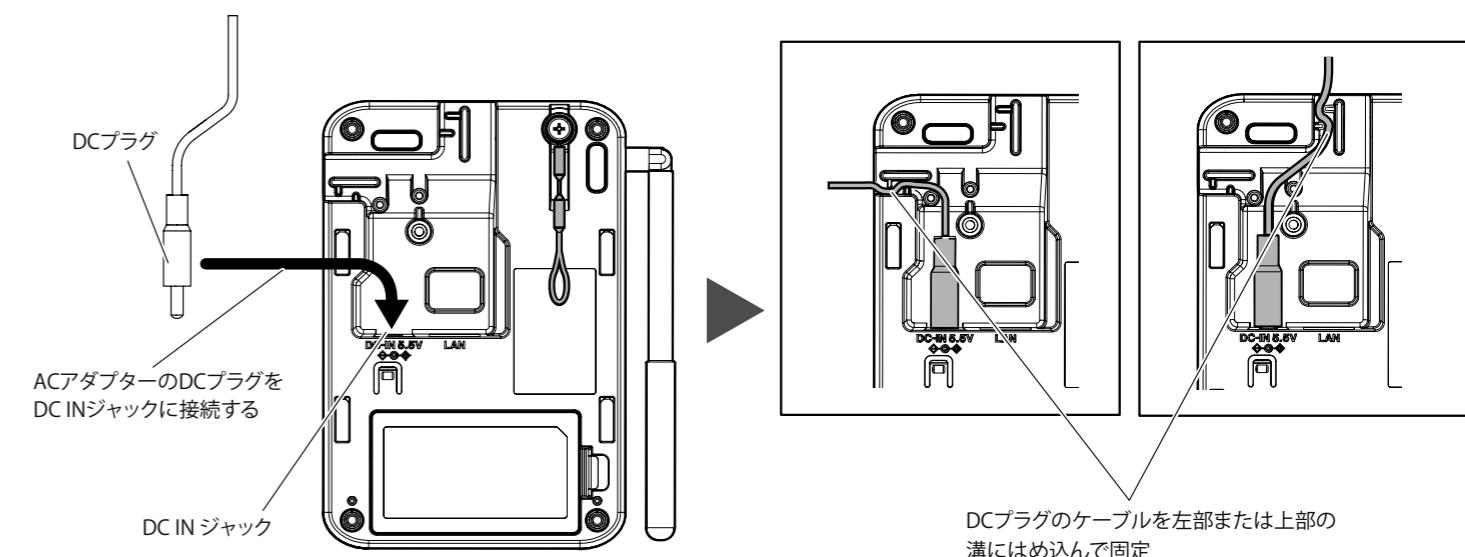
落下防止ストラップの本機への取り付け

落下防止ストラップを本機背面の落下防止ストラップ取り付け部に付属のネジとワッシャーで取り付けます。



ACアダプター(DCプラグ)の接続

ACアダプターのDCプラグを本機背面のDC INジャックに接続します。ACアダプターは必ず付属品をご使用ください。



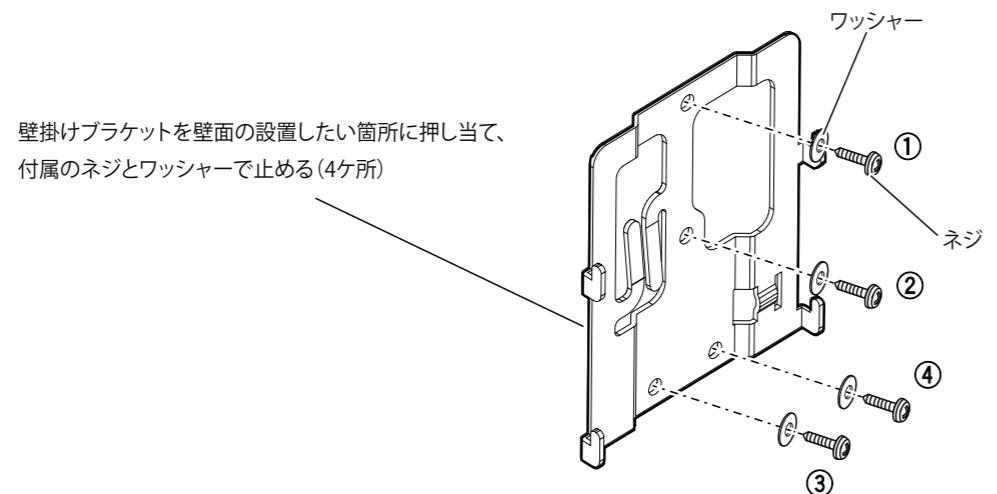
3. 本機を壁面に設置する

設置場所を決定し、設置の準備まで完了したら、壁面への設置を行います。

壁掛けブラケットの設置

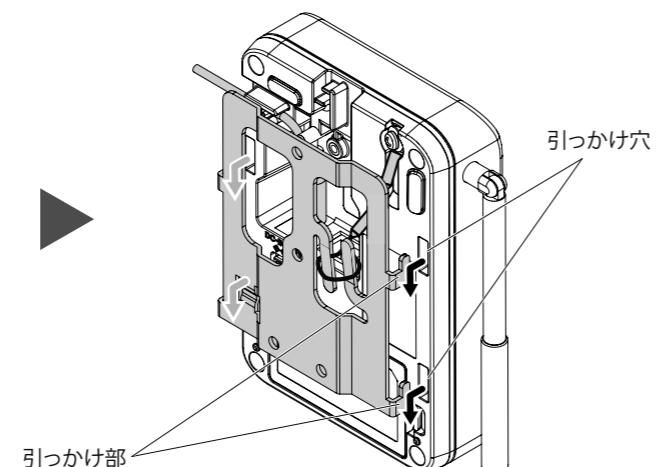
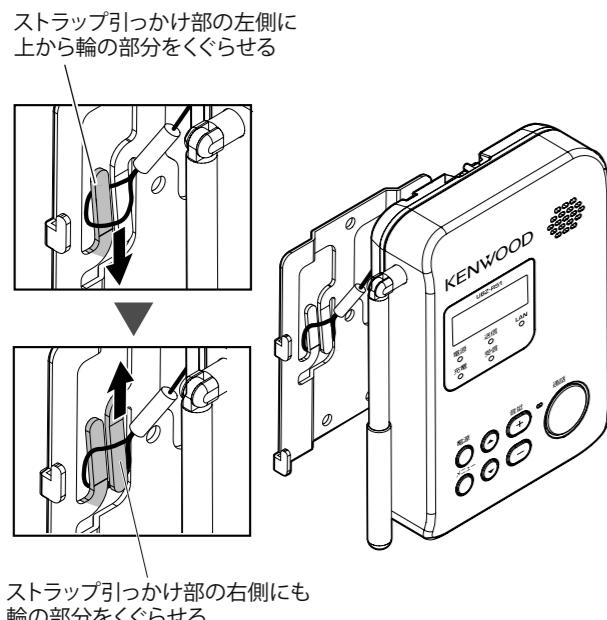
本機を設置したい位置に壁面取り付け用のブラケットを設置します。

壁掛けブラケットの取付け、取り外しの際は爪や指を傷めないよう十分ご注意ください。



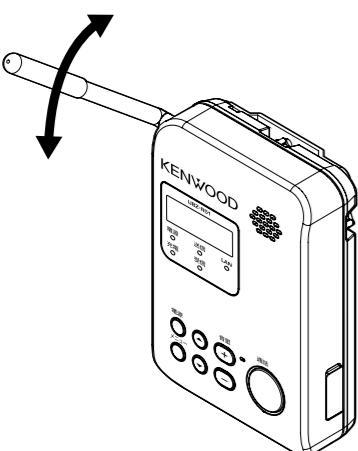
壁掛けブラケットへの取り付け

落下防止ストラップ、バッテリーパック、ACアダプター（DCプラグ）を取り付けた本機を壁面に設置した壁掛けブラケットに取り付けます。



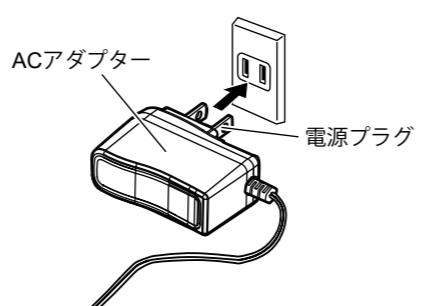
アンテナの調整

アンテナを壁や金属性の物から離れるように位置を決めます。



ACアダプターを接続

ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込みます。



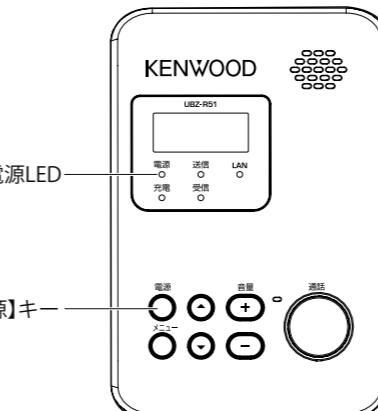
◆ ACアダプターのコード処理にご注意ください。コードに足を引っかけたりすると、本機の落下・破損の原因となります。コードに無理な力が加わる設置は避けてください。

4. 使い始める

電源をONにする

1. 本機正面にある【電源】を長く押す

- ・起動音が鳴り本機の電源が入り、起動すると電源LEDが点灯します。
- ・もう一度【電源】を長く押すと、電源LEDが消灯して電源が切れます。



2. チャンネル表示画面が表示されたことを確認する

- ・本機をはじめて起動したときは、運用モードが「単中継モード」となります。画面上部に「単体」と「中継」が表示されます。

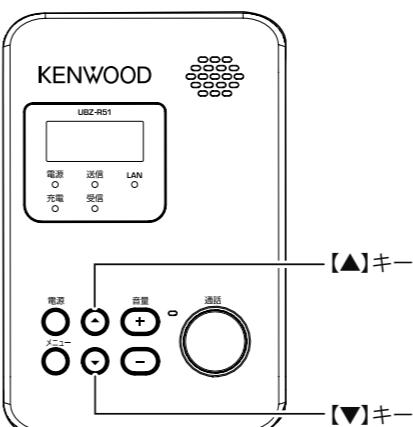


チャンネル番号とグループ番号を設定する

単中継モードで通話する場合は、特定小電力無線機のチャンネル番号とグループ番号は、本機の設定と同じにしてください。

チャンネル番号の設定

1. 【▲】または【▼】を押す



- ・【▲】または【▼】を押すごとにチャンネル番号が切り替わります。初期設定は「CH 1」です。

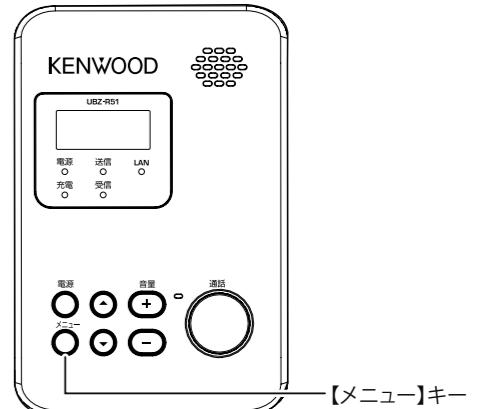


例：3 チャンネルに合わせた場合

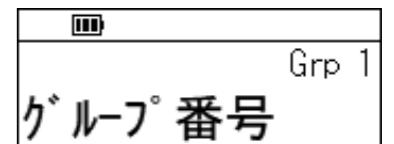
グループ番号の設定

他のグループと同じチャンネルで交信している場合、お互いの声が混ざり合って通信しづらくなります。仲間同士でグループ番号を設定しておくと、混信がなく快適な通話ができます。

1. 【メニュー】を押す



- ・画面右上のグループ番号が点滅します。



2. 【▲】または【▼】を押す

- ・押すごとにグループ番号が切り替わります。設定範囲はOFF、1～38になります。初期設定は「1」です。



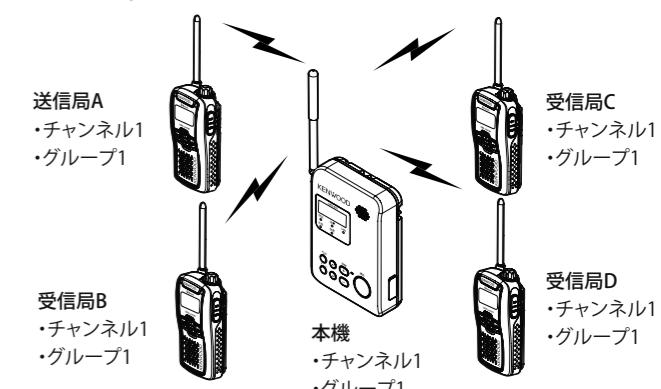
例：3 チャンネル、グループ 10 に合わせた場合

◆ 本機の設定はパソコンと本機を LAN で接続し、Web Tool から行うこともできます。詳しくは、「取扱説明書（詳細編）」をご覧ください。

本機とトランシーバーで動作確認をする

チャンネル番号とグループ番号の設定が完了したら、本機とトランシーバーで動作確認を実施します。

1. 使用するトランシーバーのチャンネル番号とグループ番号を本機に設定した番号に合わせる
2. いずれかのトランシーバーの【PTT】を押し、通話が開始されることを確認する



◆ トランシーバーの運用モードを「中継器アクセスモード（セミデュプレックス）」に設定してください。